



日本の宝島“天草”の創造を目ざして!

# 天草

市政だより

サンタクロースが  
やってきた!



主な内容

- イノシシ対策は、いま
- シリーズ“豊かな海づくり”
- 第68回熊本県民体育祭天草大会

平成25年

# 10/1

No.180

# イノシシ対策は、いま

イノシシによる農作物への被害が年々深刻化しています。市ではさまざまな対策を講じていますが、イノシシの猛威はなかなか止まりません。そこで今号では、イノシシ対策の現状をお知らせします。

## イノシシの現状

捕獲頭数は増加傾向。平成22年度は5,000頭を超える  
 皆さんは、市内では年間にどれくらいイノシシが捕獲されているかご存じですか。グラフ1(左ページ参照)は、イノシシの捕獲頭数の推移です。捕獲頭数は年々増加し、同22年度には5,000頭を突破。翌年度以降は4,000頭台に減ったものの、高い水準で推移しています。

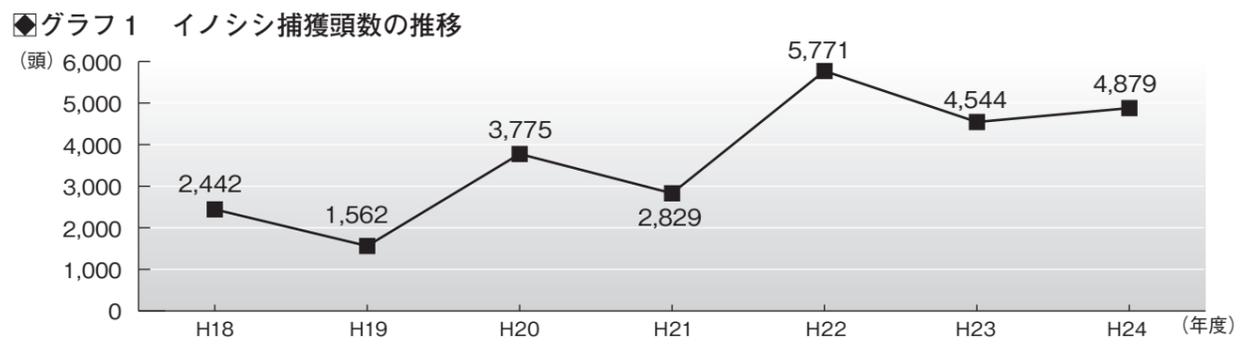
今年度もすでに2,400頭を捕獲(8月31日現在)。これは昨年の同時期と比べて約1.7倍となっています。また近年は、有明、倉岳、栖本といった上島地域の捕獲頭数が増えているのが特徴です。

それでは、天草には一体何頭のイノシシが生息しているのでしょうか。繁殖力が高く相当な頭数が生息していると思われませんが、確かなことはわかっていません。

年間3千万円を超える農作物被害  
 グラフ2は、平成18年度から同24年度のイノシシによる農作物被害額の推移です。主に水稲・いも類・果樹など年間を通じて被害が発生しており、3千万円を超える被害額となっています。



箱わなにかかったイノシシ(4~5ページに関連記事)



	本渡	牛深	有明	御所浦	倉岳	栖本	新和	五和	天草	河浦	合計
H18	572	432	102	263	33	41	180	217	220	382	2,442
H19	347	407	130	180	49	46	99	82	91	131	1,562
H20	873	527	324	327	121	149	204	389	293	568	3,775
H21	627	560	269	313	127	78	85	208	181	381	2,829
H22	1,271	812	765	403	377	256	388	286	387	826	5,771
H23	1,034	724	517	374	323	126	231	268	289	658	4,544
H24	1,096	666	690	295	316	164	235	297	246	874	4,879
合計	5,820	4,128	2,797	2,155	1,346	860	1,422	1,747	1,707	3,820	25,802

※狩猟により捕獲されたイノシシは含まれません。 出典:市農林整備課調べ

## 市の取り組み

### 「イノシシ対策係」を設置

市では、イノシシ対策を進めるため、平成23年4月に農林整備課内に「イノシシ対策係」を設置。イノシシなどを対象にした鳥獣被害防止計画や緊急捕獲計画を策定し、同計画に基づき取り組みを進めています。

また、イノシシによる農作物被害防止への支援策として、

て、農業者などが行う農地を守るための電気防護柵の設置や、狩猟免許取得にかかる経費に対して補助金を交付。被害の軽減と捕獲の推進に取り組んでいます。

「天草市有害鳥獣捕獲対策協議会」を設置。同協議会内に「捕獲隊」を編成

行政や農協、農業共済組合、

森林組合、狩猟免許取得者など、関係者が一体となって被害防止対策を進めるため「天草市有害鳥獣捕獲対策協議会」を設置しています。同協議会では、狩猟免許取得者273人により旧市町を単位とする「捕獲隊」を編成。年間を通してイノシシの捕獲を行うとともに、捕獲に必要な「わな」の購入や3戸以上の共同で設置するイノシシ侵入防止柵の整備を進めています。

## イノシシはいつから天草にいるの？

イノシシはいつから天草に生息しているのでしょうか。昔の文献には、江戸時代にイノシシがいたと思われる記録が残っているものの、明治時代以降は天草にイノシシはいないというのが定説だったようです。

しかし、昭和50年代に入ると天草地域でイノシシの目撃情報が出始めるようになります。そして同54年3月、新和町で大捕物の末、イノシシが捕獲されました。その後、このイノシシははく製にされ、新和町歴史民俗資料館に収蔵されています。



▲新和町で捕獲されたイノシシのはく製

# 捕獲対策

## イノシシが捕獲・処理されるまで



1 箱わなが設置された付近には、イノシシが土を掘り返した跡があった  
 2 米ぬかを補充する志山さん  
 3 4 箱わなを設置していることを知らせる標識と、設置者を表示したプレート  
 5 茂みに設置されている箱わな  
 6 捕獲されたイノシシ  
 7 処理の準備を行う蓑田さん  
 8 2人がかりでイノシシを運ぶ  
 9 イノシシを埋める作業のようす

捕獲隊の隊員の皆さんは、日ごろからどのようなイノシシを捕獲しているのでしょうか。  
 そこで、同隊隊長の志山哲美さんに同行し、イノシシの捕獲からその後の処理までの動きを追いました。

「すぐに入るときもあれば、1カ月も2カ月も入らないときがある。こればかりはわからない」と、志山さんは話した。

志山さんは、地元の新和町大多尾・天附地区が主な担当。地区内には常時、10基の箱わなを設置している。8月30日、この日はイノシシが箱わなにかかっているかどうかの見回りを行う日。まずは、山中の農道沿いの茂みに設置された箱わなを確認。周囲にはイノシシが活動した形跡があるものの、イノシシはかかっていなかった。降り続く雨の影響で、イノシシを誘うためのエサとなる米ぬかがなくなっており、志山さんは箱わなに米ぬかを補充した。

その後、ひとり見回りをすることもあれば、1カ月も2カ月

見回りを実施して5日後の9月4日昼ごろ、志山さんからイノシシが箱わなに入ったと連絡があった。かかっていたのは、先日の見回りの最初に訪れた箱わなのことだ。処理の準備を済ませた志山さんと落ち合い、捕獲現場へ。現場に着くと、捕獲隊員仲間の蓑田則行さんがひと足先に到着していた。車から降りると、イノシシ特有のにおいが漂っていた。箱わなに視線を移すと、暗がりの中、イノシシがうごめいているのがわかった。体長80センチメートル、約60キログラムのオスのイノシシ。かなり暴れたのか、泥だらけになっていた。

### 「志山さんの私有地へ移送」

その後、イノシシの殺処理を行い、車に載せて志山さんの私有地へ移送。捕獲したイノシシは適切に処理する必要があり、今回は周囲の環境衛生に影響がない志山さんの私有地に埋めるとのことだ。

周囲は川や民家がない、山中の私有地。あらかじめ置かれていた重機を使って1メートルほど掘り、その中にイノシシが埋められた。

### 「この場所は、捕獲隊員仲間7人が共同で使っている」

「この場所は、捕獲隊員仲間7人が共同で使っている」

### 「イノシシが入っていたぞ！」

見回りを実施して5日後の9月4日昼ごろ、志山さんからイノシシが箱わなに入ったと連絡があった。かかっていたのは、先日の見回りの最初に訪れた箱わなのことだ。処理の準備を済ませた志山さんと落ち合い、捕獲現場へ。現場に着くと、捕獲隊員仲間の蓑田則行さんがひと足先に到着していた。車から降りると、イノシシ特有のにおいが漂っていた。箱わなに視線を移すと、暗がりの中、イノシシがうごめいているのがわかった。体長80センチメートル、約60キログラムのオスのイノシシ。かなり暴れたのか、泥だらけになっていた。

### 箱わなのしくみ

今回、イノシシが捕獲された箱わなのしくみを紹介します。

材質：鉄製  
 サイズ：縦2m・横1m・高さ1m



## Voice ~声~



天草市有害鳥獣対策協議会捕獲隊 志山哲美隊長 (新和町大多尾・60歳)

### 活動範囲が平野部まで広がっている

イノシシの捕獲を15年前から行っています。以前は、箱わなを山間部に設置することが多かったのですが、最近は平地に設置することも多くなりました。それだけ、イノシシの活動範囲が平野部まで広がっているのだと思います。捕り続けても一向に減らないイノシシですが、地道に捕獲を続けていかなければならないと考えています。

### 「処理にかかった時間は1時間あまり」

イノシシの処理にかかった時間は、1時間あまり。お2

人ともに、これまでに数百頭のイノシシを捕獲・処理してきたとあって、スムーズに行われた。

ただ、降りしきる雨の中、想像していた以上に過酷な作業。特にイノシシの捕獲よりも、その後の処理がたいへんであると感じた。

志山さん、蓑田さんのお2人は、それぞれ仕事の合間をぬって、捕獲・処理の業務にあたっている。捕獲隊員としての熱い使命感を胸に、取り組んでいらつしゃると感じ

た。

# 防護対策

イノシシによる農作物被害を防ぐには、イノシシを知り、しっかりとした防護を行うことが大事です。そこで、防護柵を設置している人たちに話を聞きました。

## ようやくあきらめてくれた

野嶋重喜さん  
(五和町城河原・66歳)



地元で牛100頭を飼育しています。平成23年に、国の補助事業を活用して、仲間3人と共同で牧草地9ヘクタールの周囲1・3キロメートルにわたり、ワイヤーメッシュの防護柵を設置しました。この農地は、まわりが山に囲まれていることもあって、長年、イノシシの被害に悩まされていたんです。きれいだつた牧草地の風景が、ひと晩のうちにイノシシが牧草をむしり、土を掘り返し、農地の法面を崩すなどして、翌日にはそれは無残な姿になっていました。その光景を目の当たりにしたときは、イノシシに対する憎しみを通り越して、「こりゃ作ったつちやいっしょ。もう（牧草を）作るとはやめんば」と、ほんとうに落ち込みましたね。それでも「何とか対策をし



◀柵の外側にはイノシシが土を掘り起こした形跡が

なければ」ということで防護柵を設置。今年に入り被害はまったくなくなり、「イノシシがようやくあきらめてくれた」と思っています。自分が飼っている牛には、なるべく自分がつくった牧草を与えたいと思っていましたので、ほんとうに良かったと思っています。

## みんなでイノシシ対策

中山間地域等直接支払交付金  
鷺口集落協定（有明町大島子）  
〔山川常春代表ほか5世帯〕



国の中山間地域等直接支払交付金を活用して、地区内の農家5世帯が集まり共同でみかん畑や田んぼ、農道などの維持・管理作業を行っています。

有明町でイノシシが出没しはじめたのは、10年くらい前だつたと思います。町外のイノシシ被害のひどさを聞いていましたので、そのときに5世帯が所有するあわせて12ヘクタールのみかん畑に、電気防護柵を設置しました。それ

ぞれ所有する畑が隣接している場合は、お互いの畑の周囲を囲むようにして、効果的に柵を設置。おかげで、これまでに被害は皆無とまではいえませんが、ひどくやられたこともありません。最小限に食い止められているのではないかと考えています。また、やはりイノシシの数を減らさなければならぬということ、3人が狩



◀設置されている箱わな

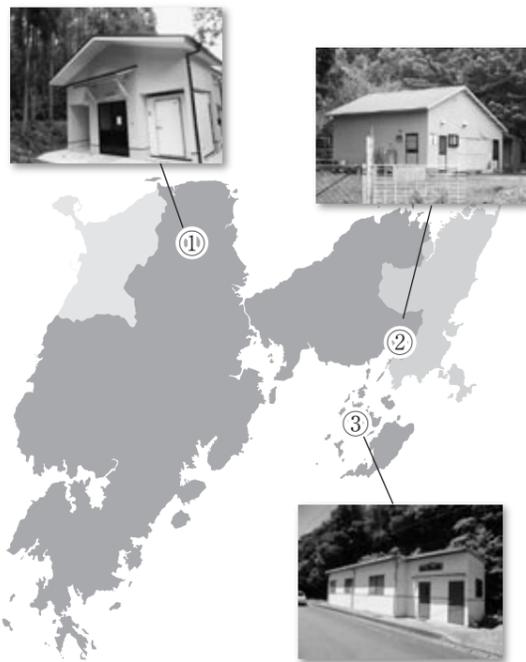
猟免許を取得しました。市の補助金を活用して箱わなを購入し、地区内には常時10基の箱わなを設置しています。4月からすでに20頭以上を捕獲しており、これは今まででいちばんはやいペースです。有明町では、年々ほんとうに捕獲頭数が増えていると感じています。何か立ち向かうときは、1人よりもみんなの方が心強いですよね。今後も、みんなで農地を守るという意識で、イノシシ対策を行っていききたいと思っています。

## 解体処理

市では、イノシシの適正処理や食肉への流通を促進するため、イノシシ解体処理施設の利用を推進しています。

現在、市内には3つの処理施設があります。持ち込み方法や解体処理にかかる費用についての詳細は、各処理施設へお尋ねください。

- ①天草地域有害鳥獣処理組合（五和町手野）
- ②宗政興産倉岳処理場（倉岳町浦）  
いずれも、清田さん ☎090(9910)1280
- ③山王館（御所浦町牧島）  
黒田さん ☎080(2722)3756

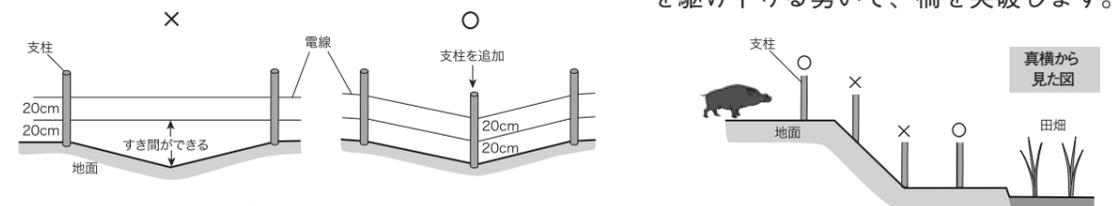


## 電気防護柵の設置・管理を適正に！

現在設置している電気防護柵は、適正に設置・管理をしていますか。設置と管理に不備があれば、せっかくの防護対策も台無しになってしまいます。

電気防護柵の効果を最大限に発揮するために、次のことを心がけましょう。

- ・柵と地面の間のすき間は、地面から20cmを保ちましょう。すき間からイノシシが入ります。
- ・斜面や傾斜が終わったところには設置しないようにしましょう。イノシシが斜面を駆け下りる勢いで、柵を突破します。



参考：熊本県鳥獣被害対策の手引き

電気防護柵を設置しませんか

電気防護柵の設置費用の一部に補助金を交付しています。詳細は、本庁（別館）・農林整備課 ☎231111へお尋ねください。

# イノシシはこういう生き物です

## 高い学習能力

目の前で仲間のイノシシがわなにかかると、警戒心が高まりわなにかかりにくくなります。

## 高い嗅覚

犬の10倍以上であるといわれています。



## 怪力

鼻先を使って70kgの石を持ち上げることができます。あごの力も強く、相当な太さの真竹もかみ割ります。

## 何でも食べる

1日当たり、米ぬかでは1kg、野菜や果実では2~3kgを食べます。

参考：熊本県鳥獣被害対策の手引き

## 1日中活動

夜行性であると思われがちですが、思った以上に臆病であり人を嫌うため、夜活動しているだけです。日中の大半を「エサ探し」と「食べること」に費やします。

## がんじょうな体毛

硬くて太く、電気を通さないほどがんじょうです。

## 年に1回4~5頭を産む

春から初夏にかけて出産。春に生まれた子イノシシがすべて死んでしまった（捕獲された）場合は、再度妊娠することがあります。



## イノシシに遭遇！そのための

### ケガをしたイノシシは攻撃的

ケガをしたイノシシは興奮状態で、攻撃的です。パニックになって突進してきます。

### ウリボウ（子イノシシ）連れの母イノシシは危険

ウリボウと母イノシシの間に入るのは危険です。ウリボウを見つけても、近くに母イノシシがいるので、決して近づいてはいけません。

### イノシシに出会ったときは刺激しないこと

イノシシに出会ったときは、傘や上着などで自分を大きく見せながらゆっくりと離れるなど、イノシシを刺激しないようにしましょう。

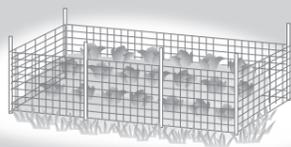


## 井上専門員による「イノシシ被害対策講演会」を開催

イノシシ防護の心構えや方法などについて、具体的に解説されます。ぜひ、ご参加ください。

- とき=10月28日(日)午前10時から
- ところ=天草地域振興局2階・大会議室
- 申込方法=電話で本庁(別館)・農林整備課へ申し込んでください。

【問い合わせ先】本庁(別館)・農林整備課 ☎1111



# 農作物被害を防ぐために

イノシシによる農作物被害を防ぐためには、どうすれば良いのでしょうか。そこで、イノシシ被害対策に詳しい、(独)農業・食品産業技術総合研究機構 近畿中国四国農業研究センターの井上雅央専門員に、話をお聞きしました。



井上雅央 専門員

プロフィール  
イノシシ被害対策について、全国各地で講演や研修、現地指導を実施。平成21年度まで同センターの鳥獣害研究チーム長を務めた後、現職。

「イノシシとはどういう生き物ですか」

まず、人間でも泳ぎが得意な人もいれば、長距離を走ることが得意な人がいます。1日に5食をたべる大食漢もいれば、食が細い人もいます。用心深い人もいれば、大胆な人もいます。  
というように、イノシシも「十人(猪)十色」です。「イノシシはこういう動物だ」という思い込みは人間の勝手な思い込みです。イノシシにはイノシシの、シカにはシカの都合があります。そのことを忘

れてはいけません。今から話すことは、イノシシのことについて一般的な話として聞いてください。「ウソでしょ?」という意見もあります。皆さんが見たイノシシは、これから話すイノシシと違うかもしれません。それだけイノシシにも人間と同じように、個性があるのです。

「イノシシによる農作物被害を防ぐために、私たちがまず理解しておかなければならない点は何でしょうか」

人間本位の考えは動物には通用しません。イノシシ被害の原因は「餌付け」と「人慣れ」です。イノシシは集落で安心してお腹いっぱい食べるこ

み場所はないですか。イノシシ被害とは、イノシシの「餌付け」に成功しただけのことです。対策とは、この「餌付け」をやめるだけのことです。

また、「イノシシは夜行性だから電気柵は夜だけ電気を流せばいい」という人がいますが、こういう地域では昼間活動しているイノシシが電気柵に慣れてしまい、夜に通電させてもまったく効かなくなり、最後にはその集落すべて

「農作物被害を防ぐために私たちが取り組まなければならないことは何でしょうか」

被害の原因をみんなで勉強することが大切です。9割の人が「餌付け」を止めていても、1割の人が「餌付け」を続けていると、イノシシは集落に近づいてきます。決して「蚊帳の外」を作らないで、集落の問題として、みんな

策です。自分がやっている対策は、「餌付け」をやめるという目的になっているかどうかを考

える習慣を身につけてください。柵をしても、いちばん「餌付け」が進む冬に水田でひこばえやレンゲを食べさせてしまえば、柵は単なるエサ探しの目標になります。稲刈りの後こそ、しっかりと柵を点検し、イノシシを絶対に入れないぞ」という柵だけが「餌付け」をやめる柵だということを

地域によっては、集落を囲む大規模柵を張って、その維持・管理で疲弊してしまっている集落もあります。決して無理なことはしないことです。長続きしません。

自分たちでできることが何か考えてみてください。もう一度原点に戻って、きちんと田畑を管理する、生ごみなどを放置しないなど、できることから始めてみてください。必ず努力は実って、イノシシから農作物を守ることができるようになります。

# 豊かな海づくり

～くまもと～

10月26日(土)・27日(日)

27日(日)は牛深漁港でも放流行事を実施!

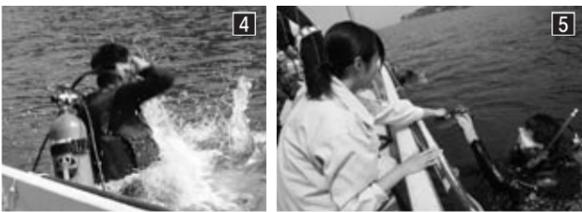
天草の海の豊かさ、大切さを今一度考えていただく“シリーズ「豊かな海づくり」”。最後となる今回は、豊かな海づくりに向けて取り組む人々を紹介するほか、10月27日(日)に牛深漁港で開催される放流行事や天草豊かな海づくりフェスタについてお知らせします。

## 高校生と漁業者の共同作業 ～アワビの稚貝を放流～

県内唯一の水産・海洋系の学科を設置している苓洋高校と、素潜り漁を行う天草漁協五和支所・裸潜組合では、毎年共同でアワビの稚貝を放流しています。放流している稚貝は、同組合が体長2cmの稚貝とエサとなる海藻を同校へ提供し、生徒が1～2年をかけて3.5cmになるまで育てたもの。今回は約7,000個の稚貝が用意され、9月12日に五和町の二江沖で生徒5人、漁師8人が参加して行われました。



1放流されたアワビの稚貝 2船へ向かう生徒たち 3生徒を見守る同組合の漁師 4568生徒たちはスキューバダイビングで稚貝が付いたプレートを海底に設置 9同組合の松本末隆組合長と生徒たちで記念の1枚



### 今後も協力して取り組んでいければ

放流された稚貝は、約2年で体長10cmくらいになり、水揚げをすることができます。今後も、ぜひ協力して取り組んでいければと思っています。



天草漁協五和支所・裸潜組合 代表 松本末隆組合長 (五和町二江・45歳)

### 豊かな海づくりにつなげたい

今日は潮の流れがはやかったので、作業をするのにとっても苦戦しました。この小さな稚貝が大きく育ち、豊かな海づくりにつながってくれたらいいなと思っています。



苓洋高校海洋開発科 3年 竹田輝さん

## “海の森”を取り戻そう ～藻場増殖の取り組み～



▶▶ プレートを設置するようす



▲ヒジキの種苗プレート



皆さんは、“藻場”をご存じでしょうか。藻場は、海の中で海藻が生い茂る場所のことをいいます。魚介類の産卵場所やすみかになるとともに、水質の浄化や光合成による酸素の生成も担っているため、「海の森」ともいわれています。

近年、この藻場が消失してしまう“磯焼け”といわれる現象が全国各地で発生。天草の海も例外ではありません。

このような中、市内ではこの「海の森」を取り戻そうとする取り組みが始まっています。

### 御所浦地区壮青年グループによるヒジキの種苗プレート設置

御所浦町内の20～50歳代の漁業者31人で組織する「御所浦地区壮青年グループ」では、今年度からヒジキの種苗が付けられたプレートの設置を始めました。プレートに付いたヒジキの種苗が海中の岩場に定着することで、藻場をつくらうという試みです。9月6日には、メンバー10人が参加し、御所浦島の西に浮かぶ眉島の海岸に、縦・横20cm、厚さ3cmのコンクリート製の種苗プレート30個を設置。これまでに、御所浦町の各島々にあわせて200個が設置されています。



御所浦地区壮青年グループ 代表 関隆成さん (御所浦町御所浦・44歳)

昔の海に少しでも近づけられたら

地元でマダイやカワハギの養殖を営んでいます。海のそばで30年以上仕事をしていますが、昔と比べると藻場がほんとうに少なくなりました。海の生命力が低下していると感じています。ただ、「藻場がなくなった、魚がいなくなった」と嘆くばかりでは、何も始まらないですよ。今年度から始めたこの取り組みは、実際にヒジキが増殖するのかわか、まだ試行錯誤の段階です。それでも、海を良くするために行動するという姿勢が、私は重要だと思っています。今から50年前、祖父はイワシのまき網漁をしていました。あのころの海を取り戻すことは難しいかもしれませんが、少しでも近づけることはできるはずです。この思いを胸に、みんなで取り組んでいきたいと思います。

第33回 全国豊かな海づくり大会～くまもと～

# 天草では放流行事・天草豊かな海づくりフェスタを開催!

「育もう 命かがやく 故郷の海」をテーマに、熊本市、水俣市、天草市で式典行事、海上歓迎・放流行事、関連行事を行います。  
本市では、牛深漁港で放流行事と、天草豊かな海づくりフェスタを開催します。皆さん、ぜひご来場ください。

- ◆とき=10月27日⑩  
※天候により一部中止するイベントがあります。
- ◆ところ=天草漁協牛深総合支所・後浜荷捌所(牛深町)

**【放流行事】14:00～15:30**  
◆内容=水俣市で行われる天皇皇后両陛下の御放流に合わせて、マダイ、ヒラメ、イサキの稚魚約3,800尾を放流します。行事終了後は、一般の来場者も放流をすることができます。

- 【天草豊かな海づくりフェスタ】**
- ◆日程・内容
  - 8:00～10:00 牛深小学校6年生による「世界一のちくわづくり」
  - 9:00～16:30 ステージイベント…書道パフォーマンス、ハイヤ踊りの披露、太鼓の演奏、ライブコンサート、福引き付きもち投げなど
  - 10:00～16:00 茶洋高校実習船・熊本丸の一般公開
  - 10:00～16:00 ミニ水族館、魚のタッチングプール、ストーンアート、写真展、お魚カルタ絵札の優秀作品展示
  - 10:30 無料!地魚の塩焼き大会(数に限りがあります)
  - 12:00 くまモンと遊ぼう
  - 10:30受付 12:30開始 小学生対象の天草おさかなカルタ・カルタ取り大会
  - 12:20 魚介類の模擬セリ大会、天草ブリの解体・さばき方の実演と刺身の試食(数に限りがあります)
  - 15:00 海上船団パレード
  - 9:00～16:00 グラスボート海中遊覧特別乗船(通常2,000円が500円で乗船できます)
  - 10:00～ 天草豊かな海物産市(天草地域の自慢の物産・飲食品販売コーナー)

※詳しいことは、全国豊かな海づくり大会天草地域実行委員会ホームページ (<http://hp.amakusa-web.jp/a1018/MyHp/Pub/>) でご覧いただけます。

【問い合わせ先】全国豊かな海づくり大会天草地域実行委員会事務局 [本庁(別館)・水産振興課内] ☎1111



清掃を行う学生たち▶



◀お世話になった牛深の皆さんと記念の1枚

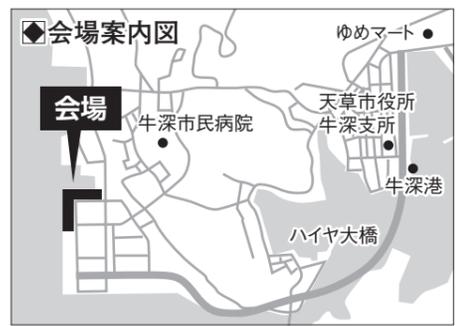


大学生生活の最後に、どうしても牛深の海を訪れたいと思い、仲間を募り訪問しました。1年半ぶりの牛深でしたが、やっぱり海はきれいで、皆さんもいつものように温かく迎えてくださいました。もともと、今回は旅が目的で訪問しました。それでも、10月に全国豊かな海づくり大会が開催されることを知り、また、歓迎して下さった皆さんにお礼がしたいと思い、自分たちにできることとして、清掃活動をさせていただきました。

今後、牛深で清掃活動をさせていただけの機会があれば、ぜひ皆さんもいっしょにご参加いただければと思います。



牛深への訪問を企画した 佐藤春夏さん (立命館大学4年)



くまモンも来るモン!



©2010熊本県くまモン

## 豊かな海づくりへ

3回にわたり掲載してきました「シリーズ「豊かな海づくり」」。かつて昔、マグロが水揚げされイワシの豊漁でにぎわっていた天草の海、市外の人が見た天草の海の魅力、豊かな海を再生し、守ろうとする漁業者や若い人たちの取り組みを紹介しました。

自然豊かで多様な水生動植物がはぐくまれる海を求めて、多くの観光客が海水浴やイルカウォッチングに訪れるなど、私たちは、海から数え切れないほどの恩恵を受けてきました。

天草は、有明海、八代海、天草灘の3つの海域に囲まれた熊本県を代表する水産業の島です。島内には60を超える漁港があり、四季折々、新鮮な魚介類が水揚げされています。それらの魚介類は、市民の皆さんの生活を豊かに潤すだけでなく、加工や流通、観光、飲食業など関連産業をも支えています。

そして、全国各地に運ばれ「天草」の知名度を上げるとともに、地域ブランドの価値を高める重要な役割も担っています。

この大会は、海の環境保全、水産資源の維持培養などを目的としています。豊かな海を守るためには、漁業関係者のみならず、広く市民の皆さんの理解、協力が必要です。大会を新たなスタートとして、市民共通の財産である天草のすばらしい海を皆さんの力で、後世まで末永く引き継いでいきましょう。

10月27日⑩には、「第33回全国豊かな海づくり大会」が熊本県で開催され、天草地域を代表して牛深漁港でも放流行事が行われます。

# 天草市は初の総合3位



◆市チーム各競技順位表

競技名	順位	競技名	順位	競技名	順位
陸上競技男子	3位	バレーボール女子	9位	空手道	5位
陸上競技女子	6位	バスケットボール男子	9位	アーチェリー	6位
水泳	2位	バスケットボール女子	9位	馬術	9位
軟式野球	3位	ハンドボール男子	1位	テニス	9位
ソフトボール男子	3位	ハンドボール女子	1位	ゲートボール男子	11位
ソフトボール女子	3位	サッカー	9位	ゲートボール女子	16位
ソフトテニス	2位	柔道	5位	ボウリング	1位
卓球	9位	剣道	3位	グラウンドゴルフ男子	7位
バドミントン男子	9位	弓道	11位	グラウンドゴルフ女子	10位
バドミントン女子	9位	相撲	4位		
バレーボール男子	5位	銃剣道	3位		

◆総合順位表

順位	郡市名	順位	郡市名
1位	熊本市	11位	宇土市
2位	八代市	12位	葦北郡
<b>3位</b>	<b>天草市</b>	13位	山鹿市
4位	玉名市	14位	上天草市
5位	人吉市	15位	荒尾市
6位	上益城郡	16位	水俣市
7位	菊池郡市	17位	玉名郡
8位	球磨郡	18位	天草郡
9位	宇城市	19位	下益城郡
10位	阿蘇郡市	20位	八代郡

9月14日⑤・15日⑥、県内最大級のスポーツイベント「第68回熊本県民体育祭天草大会」が、12年ぶりに天草地域で行われました。大会には、20郡市から6,834人の選手が参加。開会式では、炬火ランナーを富田誠至郎さん（陸上・浜崎町）が務め、選手宣誓は上原真生さん（男子ハンドボール・本渡町本戸馬場）が行いました。市からは23競技・31種目に408人が出場。各競技で熱戦が繰り広げられ、市チームは男子・女子ハンドボール、ボウリング競技で1位、水泳とソフトテニス競技が2位に入るなど大健闘し、初の総合3位でした。



▲福連木の子守唄を披露する子どもたち

## 伝統文化を次世代へつなげるために

くまもと子ども芸術祭

8月25日、「くまもと子ども芸術祭2013in天草」が天草市民センターで開催され、約700人が来場しました。県文化協会、市芸術文化協会などをつくる実行委員会が、芸術文化を次世代へつなげようと初めて実施したものの。

天草地域の子どもたちを中心に14団体約400人が出演し、福連木の子守唄や牛深ハイヤ踊りなどを披露。子どもたちの元気な姿に、観客から大きな拍手が送られていました。このほか、土人形の絵付けや竹細工、パラモン<sup>ぱらもん</sup>つくりの体験教室、伝統工芸の“とおしもん”の展示もありました。

## 同級生どうしの親ぼくを深める

同級生対抗ソフトボール大会

栖本町の「同級生対抗ソフトボール大会」が8月15日、栖本総合グラウンドと栖本小学校グラウンドで行われました。同級生どうしの親ぼくと融和を深めようと、お盆の帰省時に合わせて毎年開催されているもの。

大会には、16歳から50歳までの10チーム・約140人が参加し、優勝を目ざして熱戦を繰り広げました。結果は、平成7年生まれチームがみごと、優勝しました。



▲優勝した平成7年生まれチーム



▲敬老会を楽しむ参加者

## 元気に長生きしてください

新和町で敬老会

9月1日、新和町の「敬老会」が新和町民センターで行われ、町内に住む75歳以上の高齢者約350人が参加しました。新和まちづくり協議会が実施しているもの。「東雲座<sup>しのめざ</sup>」による民謡などの公演のほか、地元の小・中学生の児童生徒が“おじいちゃん、おばあちゃん”と題して作文を発表。「おじいちゃん、おばあちゃん大好きです。元気に長生きしてください」との言葉に、参加者は笑顔を見せていました。

## これからも夫婦仲良く

金婚夫婦表彰

9月1日、河浦町一町田地区の第55回熊日金婚夫婦表彰が同地区コミュニティーセンターで行われ、地区在住の金婚ご夫婦16組が表彰を受けられました。同日に開かれた同地区振興会が主催する敬老会の席上で実施。熊本日日新聞社から表彰状と記念品が、市から夫婦湯のみなどが贈られました。

表彰を受けられた濱崎貢さん・道子さんご夫婦は、「これからも支え合って過ごしていきます」と笑顔で話されました。なお、本市では今年、247組のご夫婦が金婚を迎えられました。



▲表彰を受ける濱崎さんご夫婦



▲ダンスを披露する“すいとっとダンサーズ”

## 豊漁を願って

タコ供養祭

豊漁や海難事故防止を祈願する「タコ供養祭」が8月8日、有明町四郎ヶ浜ビーチ横の五多幸広場で行われました。毎年、タコの足の数にちなんだこの日に開かれているもので、関係者ら約40人が参列。神事後、地元商工会女性部で組織する“すいとっとダンサーズ”が、真っ赤なタコの衣装を身にまとい“すいとっとダンス”と銘打った踊りを披露。ユニークな振り付けに、参列者は笑顔を見せていました。

## 夏祭りで地域をもっと元気に！

河浦大夏祭り

8月24日、町内の若者たちで組織する河浦青年同志会主催の「第2回河浦大夏祭り」が河浦総合運動場で開かれ、約700人が来場しました。スイカの早食い競争や同会のメンバーらによるバンド演奏のほか、ご当地ヒーロー“河浦戦隊デコボンジャー”のステージショー、地元の小学生女子4人組のご当地アイドル“Kガールズ”が軽快なダンスを披露。来場者は、「とても楽しい祭りだった。これからもずっと続けてほしい」と話していました。



▲スイカの早食い競争をする子どもたち



▲「天草市中学生心の絆宣言」を提案する生徒

## 10年後の天草市について考える

### 天草市子ども議会

8月22日、市内13の中学校から選ばれた26人の“子ども議員”と、安田市長ほか市執行部26人が参加して、「天草市子ども議会」が市議会議場で開かれました。6つのグループに分かれて、“私たちが望む10年後の天草市の姿「心の絆を深める」”をメインテーマに、各グループで設定したまちづくりや福祉に関することなどのテーマに沿って質問と提案を実施。それに対する答弁を市執行部が行いました。

このほか、子ども議員から、いじめや差別などをなくし、信頼し認め合える人間関係づくりを目ざす、「天草市中学生心の絆宣言」が提案され、可決。参加した生徒たちは、真剣な表情で取り組んでいました。



▶ 質問のため挙手をする生徒



▶ 天草市子ども議会を終えて記念撮影



▲握手を交わす草村大成・高森町長と安田市長



▲高森町の中心街で牛深ハイヤを踊る市役所牛深ハイヤチーム

## 相互の地域活性化を目指して

### 市と高森町の連携交流事業

市と阿蘇郡高森町では、昨年9月に双方の飲食業者が合同で特産市を開いたことがきっかけで、交流を行っています。4月には、同町の草村大成町長ほか交流団一行が市を訪問し、第42回牛深ハイヤ祭りで高森にわかの披露や道中総踊りに参加し、祭りを盛り上げました。

一方、8月17・18日には、安田市長ほか市役所牛深ハイヤチーム、水産加工業者など交流団一行が、同町で行われているイベント「風鎮祭」に参加。同17日に行われた風鎮総踊りでは、参加者と地元住民ら約500人が「牛深ハイヤ踊り」と「高森音頭」を交互に踊り盛り上がりを見せたほか、牛深の特産品の販売も実施され、



▲特産品の販売のようす

会場は大いににぎわっていました。市では今後も同町との交流を深めることにより、相互の地域活性化に結びつけていきます。

## 御所浦を満喫したよ

### 関東の子どもたちが御所浦へ

8月20日から同22日の2泊3日で、関東地方の小学生51人が御所浦町を訪れました。東京都で理科の実験などの教育を行っている塾が実施したもの。参加した子どもたちは、地引き網や魚さばき、化石採集などを体験。化石をたくさん採集するなど、日ごろできない御所浦ならではの体験を満喫していました。



▲化石採集をする子ども



▲選手宣誓をする親子

## スポーツを通して親子のふれあい

### 親子ソフトボール大会

牛深まちづくり協議会が主催する「第39回親子ソフトボール大会」が9月8日、牛深グラウンドで開催されました。親子や地域のふれあいと体力づくりを目的に実施されているもので、地区ごとに編成された8チーム・約240人が参加。試合は4回までを子どもたちが、その後7回までを親が行い、豪快なホームランに歓声上がるなど、熱戦が繰り広げられました。結果は、須口チームがみごと、優勝しました。



▲いかだをこぐ子どもたち

## 高浜川を親子で遊覧！

いかだ下り

天草町の高浜川で8月11日、高浜橋から白鶴浜までの約2kmを下る、「いかだ下り」が行われました。高浜子ども会が実施したもので、地元の子どもや保護者など35人が参加しました。参加者は、5艇のいかだにそれぞれ乗リスタート。子どもたちは、いかだをうまく進めることができず苦戦していましたが、お父さんの力強いかじ取りと、お母さんの声援を受け、無事白鶴浜に到着しました。

## 交流をとおして復興支援

東松島夏祭り

8月24日、宮城県東松島市で開催された「東松島夏祭り2013」に、同市へ派遣されている市職員1人と市から職員3人が参加しました。東日本大震災の復旧・復興支援のために参加したもので、「がねあげ」や「ばんかんジュース」の販売を地元の市職員たちと協力して実施。「がねあげ」は好評で、来場者は、「はじめて食べました。素朴な甘みがありおいしいです」と話していました。

今回の売り上げは東松島市へ寄付。参加した市職員は、「今後も交流を行うことで、復興支援につなげていきたい」と話していました。



▲祭りのようす



▲「認知症の予防には、適度な運動を行うなど今から始めることが大事」と話す矢田部医師

## 認知症について学ぶ

認知症を考えるつどい

「天草市認知症を考えるつどい2013」が9月1日、栖本福祉会館で開かれ、約200人が参加しました。天草認知症家族の会代表の宮崎記代子さんによる介護体験発表や、あまくさ心認知症を地域で支える会が認知症に関する寸劇を披露したほか、市の認知症の現状と取り組みの報告などを実施。また、熊本大学医学部附属病院の矢田部裕介医師が、「認知症の予防を！～いつからはじめるの？今でしょ！」と題して講演。認知症の正しい理解や予防などについて話され、来場者は熱心に聞き入っていました。

## 天草にサンタクロースがやってきた

世界サンタクロース会議

9月8日、「第1回世界サンタクロース会議 in 天草」が本渡町の西の久保公園で開かれました。会議には「グリーンランド国際サンタクロース協会」に所属する世界各国の公認サンタクロース15人が参加。「天草はサンタクロースの聖地である」と決議しました。また、11月にスウェーデンで行われる「第10回サンタクロース・ウィンターゲーム」の日本代表選考会も実施され、市内外から34人が出場。煙突登りとお菓子の早食いを組み合わせたタイムレースやプレゼント袋の遠投などに挑戦。結果は若林泰子さん（広島市）が優勝しました。

このほか、地元の子どもたちなど約5,000人が来場し、公認サンタクロースとの記念撮影やゲームなどの交流も行われ、会場は多くの人でにぎわっていました。



▲会議を行う公認サンタクロース



▶プレゼント袋の遠投をする出場者

## 防災意識を高めるために

棚底地区地震・津波避難訓練

9月1日、倉岳町で「棚底地区地震・津波避難訓練」が行われ、市消防団倉岳方面隊や地区住民など約400人が参加しました。棚底地区振興会と同地区の各自主防災会が、地区住民の防災意識を高めるために開催したものです。訓練は、地震により津波災害が発生したとの想定で実施。避難・消火・救急法・炊き出し訓練などが行われ、参加者は万一の災害に備えて真剣に取り組んでいました。



▲避難訓練を行う参加者

## 8年ぶりの全国の舞台で健闘

ソフトボール・天草本渡クラブが全国大会に出場

ソフトボールクラブの天草本渡クラブ（岩口裕二監督）が、9月6～8日に島根県雲南市で開かれた「第28回全国壮年ソフトボール大会」に、県代表として8年ぶりに出場しました。大会には、各都道府県の予選を勝ち抜いた48チームが出場。結果は、1回戦で大阪府代表と対戦し惜しくも敗退。岩口監督は、「また来年に向けて練習をがんばりたい。部員（40歳以上の男性）も募集中です」と話していました。



▲参加した選手の皆さん



自然に囲まれての運動会、開会式でパチリ！  
もぐし保育園（牛深町）

園児フォトスナップ



合掌の心を大切にしている優しい子どもたちです  
城河原保育園（五和町）

若っ喝采  
ワッガッサイ!!

友田 誠盛さん  
(御所浦町御所浦・28歳)

建設関係の会社に勤務して、3年になります。外の仕事ですので、天候に左右されやすくていへんなときもありますが、道路のほ装や港の工事など、自分たちが作り上げたものが皆さんの役に立つと思うと、自然と力がわいてきます。

趣味は魚釣りです。休みの日は、船で御所浦島や鹿児島県の獅子島の沖合いに出ています。今はイカがシーズンなので、たくさん釣りたいですね。



天草の元気が大集合！ひろば  
みんなの広場



おどろき夫婦

山道 清一さん (95歳)  
ヨシノさん(95歳)  
(倉岳町浦)

昭和15年結婚  
(73年目)

◆夫婦円満の秘けつを教えてください。

けんかをせず、とにかく仲良く楽しく毎日を送ってきたことだと思います。子室にも恵まれ、6人の子・15人の孫・12人のひ孫がいます。今後も夫婦そろって元気に仲良く長生きして、ぜひ、やしゃ孫の顔を見たいですね。

◆お互いにひとことお願いします。

清一さん：お互いによくがんばってきましたね。これからもよろしくおねがいします。  
ヨシノさん：おかげさまで、元気に長生きさせてもらっています。ありがとう。



ザ・部活動

部活動がんばる中学・高校生



入賞を目ざして

浪床 祐美さん

天草工業高校（亀場町）美術部・3年

小さいころから絵を描くことが好きだったので、入部しました。部員は7人で、私は部長をしています。風景画をよく描きますが、好きな風景をイメージどおりに描けたときはうれしいですね。また、一つの作品を描くのに3から4カ月かかるので、完成したときは達成感があります。

毎年、天草美術展と天草を描く絵画コンクールに出展し、1年生のときは同展で奨励賞、2年生のときは同コンクールで入賞をいただくことができました。今年も入賞を目ざしてがんばりたいと思っています。

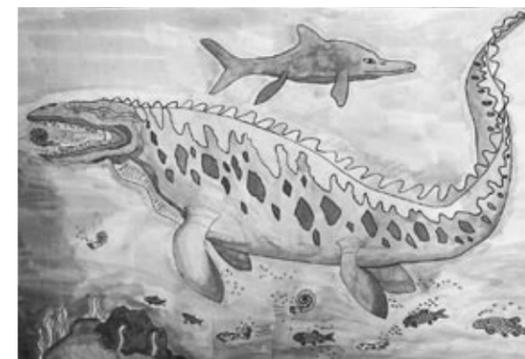


作品名「恐竜の対決」

河浦小学校（河浦町）  
6年 小川 幸太くん



恐竜が対決しているところを描きました。2頭の恐竜が同じ色にならないように気をつけながら、ていねいにぬりました。



作品名「のんびり」

浦和小学校（有明町）  
6年 松崎 渉滉くん



恐竜が、海中でのんびりと泳いでいるようすです。立体感を出すために、同じ青色でもおなかと手は少し色を変えて描きました。

こども芸術館



松本美智子さん  
(亀場町亀川・64歳)

## 心を込めてお弁当づくり

亀場町亀川にあるレストラン、“コミュニティかめば塾「まちの台所」”の代表。毎週火・木・土曜日に、亀場町内に住む食事づくりが困難な高齢者を中心に、見守りを兼ねた手作り弁当の配食事業のほか、店舗でお弁当と同じ献立のランチを提供している。メンバーは60～70歳代の女性13人。全員が日ごろは家事など家庭を守る役割を担いながら、その合間を活用し取り組んでいる。

平成15年に、亀場町公民館主催の“女性にできるまちづくり”に関する勉強会での活動がきっかけで、取り組みがスタート。「まちづくりのために私たちができること、それが“食を提供すること”だったんです」と松本さんは話す。その後、同22年11月には同町内にある空き家を改築し、念願だった店舗をオープンした。

献立は、四季折々の旬の野菜が中心。「できるだけ同じ献立が続かないように心がけていて、食材も切り方を変えるなど、くふうをしています」と松本さん。きめのこまかい気配りは、女性ならではの。現在、配食を行っているのは30軒。「お弁当を手渡すときは、その日の天気や気候など、必ず一声をかけています。『おいしいお弁当をありがとうございます』と伝えてくださったときは、とてもうれしいですね」と話す。

一方、「私たち13人にとっても、この活動はなくてはならないもの」と松本さん。自分たちの手で地域貢献ができているという充実感が、メンバーの生きがいになっていると話す。

「生涯現役を目標にして、これからもがんばっていきます」。松本さんたちの心を尽くした弁当づくりは、これからも続く。

コミュニティかめば塾「まちの台所」  
〔営業時間〕 毎週火・木・土曜日の  
午前11時30分から  
(なくなりしだい終了)  
〔住 所〕 市内亀場町亀川1816-5  
〔電話・FAX〕 ②5506

今月の

h i t o

## ハッピーバースデー

… 今月で1歳になります …

投稿  
コーナー



やまと  
城下 大和 くん  
五和町手野  
父・尚哉さん 母・久美子さん

じいじ、ばあばいつもありがとう  
たくさん抱っこしてね♡



かりん  
大久保 花梨 ちゃん  
本町新休  
父・崇さん 母・友里恵さん

本町と二江のじいじ、ばあばいつも  
ありがとう♡



なつき  
山内 夏輝 くん  
亀場町亀川  
父・辰郎さん 母・絵里さん

ボク、  
こんなに大きくなりました♡



かのん  
中山 叶望 ちゃん  
五和町御領  
父・武司さん 母・愛美さん

小さく生まれたけど、元気です  
生まれてきてくれてありがとう♡



るい  
中山 塁 くん  
今釜町  
父・圭さん 母・美紀さん

結衣ちゃんといっしょに優しくま  
っすぐ育ってね！



れい  
竹内 莉 ちゃん  
御所浦町御所浦  
父・繁喜さん 母・美穂さん

2人のおばあちゃん大好き！



かずと  
福永 和翔 くん  
八幡町  
父・正太さん 母・絢子さん

返事がしづらいですが、バナ  
ナが大好きです♡



かなな  
竹本 華杏奈 ちゃん  
新和町小宮地  
父・勇太さん 母・亜弥さん

男の子じゃないヨ  
女の子だよ♡



たくみ  
松永 匠史 くん  
牛深町  
父・竜弥さん 母・利奈さん

いつもすてきな笑顔をありがた  
う。スクスク元気に育ってね！！

皆さんからの投稿を募集しています！ ●応募期限=10月10日(土)まで(必着)。

〈11月で満1歳になるお子さん〉

●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

〈読者のつぶやき〉

●応募方法=身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、150字程度をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、電話番号を記入してください(応募者多数の場合は選考)。  
※表記などを統一するため、趣旨を変えずに文章を直すことがあります。  
※採用されたつぶやきは、この紙面に掲載します。

〔郵送・持参先〕〒863-8631 市内東浜町8-1 (郵送の場合は住所記載不要) 天草市役所・秘書課



# 市長随筆

Mayer Essay



## 心新たにこれからやるべきこと

9月17日、菅内閣官房長官から本年度の世界遺産登録の国内推せんは、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口の関連地域」を決定したと発表がありました。私は、「残念」という言葉よりも、ただただ、驚きを感じました。

これまで何年もかけ、地元や教会関係者を含め、多くの方々のご協力やご支援をいただきながら、「天草の崎津集落」を含む「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」を世界遺産登録の国内候補としていただくよう、努力してことが報われなかったという辛さがあります。特に、ここ1年は文化庁からご指摘があった事項について、一つずつ改善に向け努力し、高度な専門性を有した遺産として、世界に誇れる遺産であることを確信していました。

しかしながら、がっかりばかりはしてられません。早速同日、市の世界遺産推進本部の会議を開催するとともに、翌日には地元の代表者の方々とお話しをさせていただき、心新たに、これからやるべきことを確認いたしました。

今後、世界遺産として認定を受けた場合を想定し、崎津地域の景観保全と生活環境の問題、来訪者の受入体制のあり方、受入施設の整備など、地元の方々のご理解とご協力を得て、じっくりと対応・整備をしていきたいと考えています。

これからも、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が世界遺産登録となりますよう精一杯努力していきたいと思ひます。

天草市長 安田公寛

## 消費生活

### 「債権の譲渡を受けた」と連絡が…でもあわてないで!

借金など、「債権の譲渡を受けた」と事業者から突然通知が来たり、直接訪問があったりして、返済を迫られたという事例が増えています。まずは落ち着いて、次のことを考えてみましょう。

- ◎“架空請求”の可能性があり  
ます。
- ◎時効成立の要件を満たしている場合があります。  
安易に債務の承認はせず  
に、まずは市消費生活センターへご相談ください。



【問い合わせ先】  
市消費生活センター ☎ 26677

## 実践 エコ暮らしのECOセトラ

### 資源物の出し方について

#### きれいに洗いましょう!

資源物についている付着物や汚れは、きれいに落として水気を切って出してください。汚れたものが入っていると、ほかのきれいな資源物まで汚れてしまい、リサイクルをすることができなくなってしまいます。



#### きちんと分別して出しましょう!

資源物は種類ごとに再商品化されます。プラスチック類に紙やビンなどが混入しないように、きちんと分けて出しましょう。



※資源物の出し方についての詳細は、各世帯へ配布している「家庭ごみの出し方カレンダー」をご覧ください。

※同カレンダーは、本庁・環境施設課や同市民課、各支所担当課に備え付けてあります。

【問い合わせ先】本庁・環境施設課 ☎ 21111



▲まもなく収穫を迎えるオリーブの実 (五和町御領)

## オリーブの島づくり

### オリーブの実が収穫を迎えます

まもなく、オリーブの実の収穫時期を迎えます。塩漬け用として9月に収穫する品種もあります。9月、オイル用は10月、11月が収穫の適期です。昨年、市内では10月中旬に収穫・搾油が行われました。

オリーブの実は、8月に果実が大きくなり、色は緑色から赤紫色に変わり、完熟になると黒色になります。熟すほどに実に含まれる油分の量が多いといわれています。

### オリーブの木を植えませんか

今年の秋植え(11月から12月上旬)を対象に補助金を交付します。

- 補助対象Ⅱ市内に住所がある市民・団体・事業所など。
- 補助対象経費Ⅱ①苗代や植栽にかかる経費②耕地再生や土壌改良にかかる経費など。
- 助成額Ⅱ補助対象経費の2分の1以内(10アール当たり10万円を上限)。

※詳しいことは、本庁(別館)産業政策課 ☎ 11111へ。

たより

## 天草市男女共同参画センター

### ぽぽらす通信

※「ぽぽらす」とは、イタリア語で市民などを意味する「ポポラーレ」と、拠点をイメージさせる言葉である“巣”を組み合わせた造語です。

### 市民活動コーディネーターをご存じですか?

ぽぽらすには、“市民活動コーディネーター”という肩書きの人たちがいます。濱崎ひろ子さん、山口麻里さんです。そこで、お2人に同コーディネーターの役割などについて話をお聞きしました。

——市民活動コーディネーターとはどのようなことをするのですか



濱崎さん

濱崎さん 新しいことにチャレンジしたい人や団体からの相談を受けて、情報提供をしたり学習会を開いたりして、市民活動の輪を広げる活動をしています。

山口さん 何かに挑戦したいという気持ちがあっても、具体的に何をどうすれば良いのかわからない人が多いと思うんです。そういう皆さんの思いを形にできるように支援をするのが、私たちの役割です。

——今後の目標を教えてください

山口さん 地域でがんばっている女性にスポットが当たっていないと思っています。そういった皆さんの活動を広くPRして、活動と支援の輪が広がっていくようにしていきたいです。



山口さん

濱崎さん チャレンジしたいという人たちをもっとサポートしていきたいです。市民活動やボランティアなどについて、知りたい、やってみよう、などありましたら、ぜひお気軽に相談していただけたらと思います。

お気軽にご相談を! 来所相談/電話相談 [☎080(8350)3991]…月～金曜日の午前9時から午後4時まで

【問い合わせ先】市男女共同参画センターぽぽらす ☎ 28200



今月号の表紙

9月7日、グリーンランド国際サンタクロース協会公認のサンタクロース15人が、天草空港に到着。来場者からの歓声に、笑顔で手をふるなどしていました（20ページに関連記事）。

### 編集 あとぜき 後記

 先月、家の裏に彼岸花が咲いていました。「ああ、もうすぐ彼岸なんだ」と鮮やかな赤色の花に見入ってしまいました。日々の忙しさで季節感を忘れてしまいそうになるこのごろ。気づかせてくれる花の生命力に感心しました。【剣】

 最近、友だちと旅行に行くことが楽しみな私。まだ計画中ですが、なるべく安く行ける方法やおいしいお店を調べています。今は、インターネットですぐに調べて予約もできるので、とても便利。うまく活用したいと思います。【風】

 「世界サンタクロース会議in天草」の取材で、天草空港へ。子ども連れなど多くの人たちで大盛況。私も、間近で見るサンタさんに大感激でした。ただ、久しぶりに外での取材。日焼けで“真っ赤なお鼻”になってしまいました。【素】



【編集・発行】  
熊本県天草市役所  
総務部秘書課広報広聴係  
〒863-8631 天草市東浜町8番1号  
TEL 0969-23-1111  
FAX 0969-22-7016  
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>  
E-mail [hisyoka@city.amakusa.lg.jp](mailto:hisyoka@city.amakusa.lg.jp)

「市政だより天草」は再生紙を使用しています。

# 天草印 農林水産物

Vol.18  
イセエビ



5月から禁漁になっていたイセエビ漁が、8月21日に解禁しました。天草漁協によると、牛深と天草町が主な水揚げ地で、漁獲は例年約10トン。市内の宿泊施設などでは、毎年この時期にイセエビづくしのグルメフェアが開かれています。



手軽においしく

ささっと  
レシピ

## かぼちゃとなすのベーコン巻き

もう1品ほしいときや、おべんとうのおかずぴったりです。ぜひ、お試しください。

### 材料・分量（約4人分）

かぼちゃ	100g	レモン	1/2個
なす	小1本	片栗粉	小さじ1杯
ベーコン（薄切り）	8枚	水	小さじ1杯
		こしょう	少々

### 作り方

- ①かぼちゃは、種とわたを取り除いて5mmの厚さでくし型に切る。なすは、5mmの厚さでななめ切りにする。
- ②ベーコンを広げ、手前にかぼちゃまたはなすをのせて巻き、水溶き片栗粉でとじる。
- ③フライパンに②を並べ、中火で焼く。
- ④焼き上がりにこしょうを軽く振り、器に盛り、くし型に切ったレモンを添える。

提供：市食生活改善推進員協議会